

# 健康福祉委員会資料

## (病院局関係)

### 2 所管事務の調査（報告）

(2) 「川崎市総合計画」第2期実施計画・平成30年度事務事業  
評価結果について（病院局に関する部分）

資料1 「川崎市総合計画」第2期実施計画・平成30年度事務事  
業評価結果について（病院局）

参考資料1 事務事業評価シート（病院局）

参考資料2 資料1の見方

病院局

令和元年8月28日

# 「川崎市総合計画」第2期実施計画・平成30年度事務事業評価結果について (病院局)

## 1 趣旨

「川崎市総合計画」第2期実施計画における、病院局の平成30年度事務事業評価結果を取りまとめました。

## 2 「川崎市総合計画」第2期実施計画・平成30年度事務事業評価結果(概要)

「川崎市総合計画」第2期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業について、病院局が所管する事務事業は5事業あり、いずれの事業も目標をほぼ達成しました(表1)。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比(病院局)

達成状況区分	内 容	事業数	構成比(%)
1 目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。</li> <li>目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。</li> <li>目標に明記した数値を大きく上回った。</li> </ul>	—	—
2 目標を上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。</li> <li>目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。</li> <li>目標に明記した数値を上回った。</li> </ul>	—	—
3 目標をほぼ達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に明記した期日、内容どおりに達成した。</li> <li>途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。</li> <li>目標に明記した数値とほぼ同じであった。</li> <li>おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。</li> </ul>	5	100.0
4 目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。</li> <li>目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。</li> <li>目標に明記した数値を下回った。</li> <li>所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。</li> </ul>	—	—
5 目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。</li> <li>目標に明記した数値を大きく下回った。</li> </ul>	—	—
合 計		5	100.0

# 平成30年度の事務事業評価結果一覧(病院局所管)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度
						予算額	決算額 (見込)	
1	10602010	川崎病院の運営	施設の管理・運営	高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供するとともに、精神科救急医療の基幹病院として精神科救急患者(二次、三次)の受入を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三次救急において高い応需率を維持(98.6%)</li> <li>●精神科救急医療の安定的な提供(精神保健指定医:3人、精神科救急患者受入数:25人)</li> <li>●地域医療支援病院の運営と連携の推進(紹介率:68.7%、逆紹介率:79.8%)</li> <li>●手術支援ロボットによる腎がん手術の開始など、がん診療の充実(がん登録数:1,519件)</li> <li>●災害拠点病院として災害派遣医療チームの体制を強化(市DMAT隊員数:46人)</li> </ul>	9,870,753	9,473,771	3
2	10602020	井田病院の運営	施設の管理・運営	南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、緩和ケア医療を担うほか、市内唯一の結核病床を有する病院として、結核患者への透析の対応も行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術支援ロボットによる胃がん手術の開始など、がん診療の充実(がん登録数:1,296件)</li> <li>●患者やその家族に対し、外来・入院・在宅と切れ目のない緩和ケアを提供(緩和ケア患者受入数:474人)</li> <li>●多職種連携による地域包括ケア病棟の円滑な活用(地域包括ケア病棟稼働率:83.6%)</li> <li>●地域医療機関との連携による機能分化の推進(紹介患者数:6,687人)</li> <li>●身近な病気に関わるテーマを専門の医師等がわかりやすく解説する市民公開講座や、町内会への出張講座を開催(開催数:13回)</li> </ul>	5,130,056	4,514,508	3
3	10602030	多摩病院の運営管理	施設の管理・運営	指定管理者制度を導入し、民間活力を活かした効果的かつ効率的な病院運営を行います。基本的医療機能として、救急医療、小児救急医療、災害時医療を中心に、小児から成人、高齢者・妊産婦等への医療の提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定管理者との定期的な打合せ(原則週1回以上)及びモニター会議等(4回)を開催し、適切に病院運営を推進</li> <li>●24時間365日の救急医療、小児救急医療等を実施し、良質な医療を安定的に提供(救急患者受入数:13,023人)</li> <li>●軽易工事、建設改良工事等により長寿命化に向けた適切な施設維持を実施するとともに、体外衝撃波結石破碎装置、白内障手術装置等を更新するなど、医療需要に基づいた確かな医療機器更新を推進</li> </ul>	827,660	762,946	3
4	10602040	良質な医療の提供を担う人材の確保・育成事業	その他	効果的な広報活動、柔軟な採用選考、多様な任用制度の活用等により、採用困難職種である医師、看護師等の確保に取り組むとともに、局人材育成計画に基づき、各種研修の充実、受講支援等を行い、職員の人材育成と能力開発に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間主催の就職説明会への参加(出展数:17回)や、年6回の採用選考の実施等により、採用困難職種である看護師等を確保</li> <li>●局人材育成計画に基づき、人事評価の研修や認定看護師研修の実施や受講支援を行い、認定看護師を48人確保</li> </ul>	0	0	3
5	10602050	経営健全化推進事業	その他	病院経営の改善に向けて、中期経営計画の策定や進捗管理、企画・立案や経営分析、諸統計の作成、諸課題の調整のほか、情報管理などを行い、病院事業の経営健全化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川崎市立病院中期経営計画に基づく取組状況について外部評価を実施</li> <li>●高額医療機器の購入と保守契約の合併入札により、複数年のトータルコストでの競争を導入</li> <li>●川崎病院において、よりきめ細かい相談支援の体制を構築するため、新たに「患者総合サポートセンター」を開設</li> </ul>	282,792	151,272	3

事業の概要												
事務事業	事務事業コード	事務事業名									政策体系別計画の記載	
	10602010	川崎病院の運営									有	
担当	組織コード	所属名										
	833110	川崎病院事務局庶務課										
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類			分類1(市民サービス等)		分類2(内部事務)				
	—	—	施設の管理・運営			—		—				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市病院事業の設置等に関する条例											
総合計画と連携する計画等	国土強靱化地域計画,まち・ひと・しごと創生総合戦略,かわさき保健医療プラン,市立病院中期経営計画,情報化推進プラン,男女平等推進行動計画											
行財政改革第2期プログラムに関する課題名	改革項目					課題名						
	取組2(10)公営企業の経営改善					11 川崎病院におけるスマート化の推進						
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
		予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額
	財源内訳	事業費 A		9,870,753	9,473,771	10,530,862	10,098,991	10,655,113		10,850,681		
		国庫支出金	1	—	1	1	1			1		
			市債	638,000	—	1,238,000	771,000	1,286,000		1,481,000		
			その他特財	8,458,377	—	8,554,168	8,588,370	8,630,419		8,630,987		
	一般財源	774,375	—	738,693	739,620	738,693		738,693				
人件費※ B		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総コスト(A+B)	9,870,753	9,473,771	10,530,862	10,098,991	0	10,655,113	0	0	10,850,681	0	0	
人工(単位:人)												

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)		
政策体系	政策	市民の健康を守る
	施策	信頼される市立病院の運営
	直接目標	誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民・患者	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	誰もが安全・安心な医療サービスを安定的かつ継続的に受けられるようにします。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供するとともに、精神科救急医療の基幹病院として精神科救急患者(二次、三次)の受入を行います。また、市内唯一の感染症病床における二類感染症患者の受入、災害拠点病院としての役割を担うほか、臨床研修指定病院として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上にも寄与していきます。	
当該年度の取組内容 (第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①医療機能再編整備に向けた県・国との協議 ②救命救急センターの運営と効率的な受入体制整備の推進(救急患者受入数:29,800人以上) ③再編整備と連動したスマート化の推進(防災機能強化・中長期保全・省エネ改修) ④精神科救急医療の安定的な提供(精神保健指定医数:3人以上) ⑤地域医療支援病院の運営と連携の推進(紹介率:50%以上、逆紹介率:70%以上) ⑥がん診療連携指定病院の運営と機能の強化(がん登録数(報告値):1,290件以上) ⑦がん検診の充実 ⑧PET-CTの運用(運用件数:600件) ⑨がん相談支援センター等のがん診療連携指定病院機能の安定的運営(がん相談件数:300人以上)	

実施結果 (Do)										
上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3			1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った					
				2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った					
				3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	ほぼ目標どおり達成できました。 ①医療機能再編整備に向けた県・国との協議については、所定の手続きを終えました。 ②救命救急センターの運営と効率的な受入体制整備の推進については、重症患者の搬送はほぼ断ることなく受入れ、市の基幹病院としての役割を果たしました。(三次救急応需率98.6%)しかし、救急要請件数の減少などにより救急患者受入数の目標値は達成できませんでした。(救急患者受入数:25,080人) ③再編整備と連動したスマート化の推進については、令和元年度実施予定のエネルギーサービス事業者の公募に向け、公募条件等の検討・整理を行いました。 ④精神科救急医療の安定的な提供のため、精神保健指定医数3人を維持しました。 ⑤地域医療支援病院の運営と連携の推進については、地域医療連携の会の開催や診療所等への訪問などにより、地域の医療機関との連携強化に取り組みました。地域医療支援病院として、紹介・逆紹介に取り組みました。(紹介率68.7%、逆紹介率79.8%) ⑥がん診療連携指定病院の運営と機能の強化については、指定基準を維持するとともに、患者さんの身体的負担の少ない手術支援ロボットを適用するがん手術の拡大など、がん診療体制を強化しました。(がん登録数:1,519件) ⑦がん検診については、胃がん内視鏡検診(週52枠)を維持しました。また、広報を強化するとともに市民公開講座を通して啓発を行いました。 ⑧PET-CTの運用については、他院訪問などにより連携強化に努めました。(運用件数:590件) ⑨がん相談については、外来との連携や広報により、相談件数は目標を上回り632人に達しました。									
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)				目標・実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 活動指標	市民公開講座開催数				目標	6	6	6	6	回
	説明 市民の健康増進や医療・介護知識の習得などを目的とした、市民向け公開講座の開催回数				実績	9	-	-	-	
2 活動指標	災害派遣医療チームの隊員数(市DMAT)				目標	30	30	30	30	人
	説明 災害派遣医療チームの在籍隊員数(研修修了者)				実績	46	-	-	-	
3 成果指標	入院患者満足度				目標	88	88.5	89.3	89.3	%
	説明 市立病院で実施している入院患者の満足度調査(有効回答数概ね300)において、満足~不満足5段階のうち、満足(満足+やや満足)と回答した人の割合				実績	86.6	-	-	-	

4	成果指標	外来患者満足度	目標	78.8	80.2	81.7	81.7	%
		説明 市立病院で実施している外来患者の満足度調査(有効回答数概ね300)において、満足～不満足との5段階のうち、満足(満足+やや満足)と回答した人の割合	実績	76.2	-	-	-	
5	成果指標	紹介患者数	目標	12,000	12,100	12,200	12,300	人
		説明 地域の他の医療機関から紹介されて川崎病院を受診した患者数	実績	12,305	-	-	-	
6	成果指標	三次救急応需率	目標	97.9	98.1	98.1	98.1	%
		説明 救急自動車により搬送される3次救急患者の応需率(受入件数/受入要請数)	実績	98.6	-	-	-	
7	成果指標	精神科救急患者受入数(二次・三次救急)	目標	28	28	29	29	人
		説明 精神科救急医療体制により受入れた患者数	実績	25	-	-	-	

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	社会保障制度改革が進められる中、医療分野においては、患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携を通じた、より効果的・効率的な医療提供体制の構築が求められています。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H29年度:川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本計画を策定し、拡充する機能、規模、配置など計画をとりまとめました。 H28年度:川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本構想を策定し、医療機能再編整備の基本的な考え方をとりまとめました。 H27年度:川崎市立病院中期経営計画2016-2020を策定し、計画期間内(H28-R2)における経営形態の現状維持等を確認するとともに、医療機能再編整備の検討を進めることとしました。 H26年度:市立川崎病院におけるスマート化の基本方針を策定し、今後の医療需要の増加に対応する医療機能再編整備の検討を進めることとしました。

評価項目		評価	
必要性	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?	a. 事例はない b. 事例がある	b
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
評価の理由	【民間の活用】令和4年度導入予定のエネルギーサービスにおいて、民間ノウハウを活用したサービスの導入により、設計・施工・管理・光熱水費等のコストの削減が期待できます。また、令和元年度からは病院駐車場を民間事業者に貸し付けることによりコストの削減と利便性の向上を図る取組を実施します。 【事業手法等の見直し・質の向上】MEセンターと協力して医療機器の保守契約の仕様を見直すなどにより、更なる経費削減と質の向上が図られる可能性はあります。		

施策への貢献度	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A 一部成果指標が目標値に至らなかったものの、三次救急医療、感染症医療、精神科救急など、公立病院に求められる政策的医療を継続的に実施し、市民に信頼される市立病院の運営を行うとともに、川崎南部保健医療圏で初めて導入したPET-CTの運用を開始し、地域のがん医療水準の向上を図るなど、施策に対して貢献しました。

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	III ・公立病院に求められる政策的医療を継続し、安定的に運営していくとともに、地域医療支援病院、がん診療連携指定病院としての役割を果たすため、さらに機能を充実していきます。今後も、継続的に医療機関訪問等を実施し、病院・診療所との連携を進め、広報等を通して、地域におけるPET-CTの共同利用を推進していきます。 ・患者満足度については、休める場所についての要望が多いことから、外来の休憩スペースの拡充に取り組み、快適性の向上を図ります。 ・リハビリテーションの医療ニーズに応えるために必要となる療法士の体制を強化し、入院患者に対するリハビリテーションの早期介入と充実を図ることで、早期回復や円滑な在宅復帰を支援します。 ・超高齢社会に向けた医療機能の強化・拡充など、医療機能再編整備を着実に推進していきます。
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	変更前 (次年度計画上の記載)	
	変更後 (上記計画上の記載に対する変更点)	
	変更の理由	



# 平成30年度 事務事業評価シート

事業の概要												
事務事業	事務事業コード	事務事業名									政策体系別計画の記載	
	10602020	井田病院の運営									有	
担当	組織コード	所属名										
	835110	井田病院事務局庶務課										
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)			分類2(内部事務)					
	—	—		施設の管理・運営			—					
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市病院事業の設置等に関する条例											
総合計画と連携する計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略,かわさき保健医療プラン,市立病院中期経営計画,情報化推進プラン,男女平等推進行動計画											
行財政改革第2期プログラムに関する課題名	改革項目						課題名					
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
		予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額
	財源内訳	事業費 A	5,130,056	4,514,508	4,724,959	4,729,336	4,989,114		4,989,113			
		国庫支出金	1	—	1	1	1		1			
		市債	518,000	—	116,000	356,000	341,000		341,000			
		その他特財	4,128,046	—	4,161,292	3,924,143	4,200,447		4,200,446			
	一般財源	484,009	—	447,666	449,192	447,666		447,666				
人件費※ B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総コスト(A+B)	5,130,056	4,514,508	4,724,959	4,729,336	4,989,114	0	0	4,989,113	0	0		
人工(単位:人)												

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)		
政策体系	政策	市民の健康を守る
	施策	信頼される市立病院の運営
	直接目標	誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民・患者	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	誰もが安全・安心な医療サービスを安定的かつ継続的に受けられるようにします。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、緩和ケア医療を担うほか、市内唯一の結核病棟を有する病院として、結核患者への透析の対応も行っていきます。また、臨床研修指定病院等として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上にも寄与しています。	
当該年度の取組内容 (第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①救急医療の充実に向けた取組の推進(救急患者受入数:9,000人以上) ②手術支援ロボット、内視鏡下治療、化学療法の実施によるがん診療の推進(がん登録数(報告値):1,224件以上) ③がん検診及び人間ドックの充実 ④緩和ケアの継続的な提供(緩和ケア患者受入数:497人以上) ⑤川崎病院とのがん診療に関わる連携強化 ⑥地域包括ケア病棟の活用と、回復期機能の充実(地域包括ケア病棟稼働率:85%以上) ⑦地域医療機関との連携による機能分化の推進 ⑧在宅復帰・在宅療養支援の充実(訪問診療件数:1,680人以上) ⑨斜面防護等工事の完成	

実施結果 (Do)										
上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3			1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った					
				2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った					
				3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	<p>ほぼ目標どおり達成できました。</p> <p>①救急医療の充実に向けた取組については、救急要請件数の減少等により目標を達成できませんでしたが、救急隊との連絡会を年2回開催するなど、受入れの向上に向けた検討を行い、非応需率の低下に努めています。(救急患者受入数:7,041人)</p> <p>②がん診療については、手術支援ロボットによる胃がん手術を8月に開始するとともに、10月に胃がん・ロボット手術外来を開設するなど、充実を努めました。(がん登録数:1,296件)</p> <p>③がん検診及び人間ドックの充実については、井田病院で人間ドックを申し込んだ方が、併せて川崎病院でPET-CT検査を受けられる体制を整備するなど、充実を図りました。</p> <p>④緩和ケアの継続的な提供については、医師の退職などにより受入患者数は減少しましたが、患者やその家族に対し、外来・入院・在宅と切れ目のない緩和ケアを提供しました。(緩和ケア患者受入数:474人)</p> <p>⑤川崎病院とのがん診療に関わる連携については、今年度川崎病院で稼働を開始したPET-CTの共同利用を始めるなど、市立病院間での連携を強化しました。</p> <p>⑥地域包括ケア病棟の活用については、多職種による地域包括ケア病棟稼働調整会議を開催し、病棟運用の調整を行うことで、院内の急性期病棟からの転床を円滑に進めるなど充実を図りました。(地域包括ケア病棟稼働率:83.6%)</p> <p>⑦地域医療機関との連携による機能分化の推進については、地域連携の会の初開催やクリニック訪問等、紹介患者の増加に向けた取組や、症状が安定した患者はかかりつけ医へ紹介するなど、地域医療連携の推進に取り組みました。</p> <p>⑧在宅復帰・在宅療養支援の充実については、医師の退職などにより訪問診療件数は減少しましたが、医療依存度の高い患者に対し、在宅診療、訪問看護を行うとともに、近隣医療機関・訪問看護ステーションとの機能別の役割を重視して取り組みました。また、外来・病棟・退院調整看護師等が連携し、退院前後の訪問を効果的に行いながら、円滑な退院調整・退院支援に取り組んでいます。(訪問診療件数:1,196人)</p> <p>⑨斜面防護等工事は、平成30年4月に着手しましたが、路盤改良工事等開発行為の変更協議により工事に中断が生じたため、完成が翌年度となりました。</p>									
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)			目標・実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位	
1	活動指標	市民公開講座開催数			目標	12	12	12	12	回
		説明	市民の健康増進や医療・介護知識の習得などを目的とした、市民向け公開講座の開催回数		実績	13	-	-	-	
2	活動指標	がんサロン開催数			目標	22	22	22	22	回
		説明	がん患者とその家族が、診察室以外の場所で、日常の悩みの相談など自由に話せる場所であるがんサロンの開催数		実績	23	-	-	-	

3	成果指標	入院患者満足度	目標	90.7	91	91.3	91.3	%
		説明	実績	90.5	-	-	-	
4	成果指標	外来患者満足度	目標	82	82.3	82.6	82.6	%
		説明	実績	82.4	-	-	-	
5	成果指標	紹介患者数	目標	6,230	6,350	6,470	6,590	人
		説明	実績	6,687	-	-	-	
6	成果指標	内視鏡治療件数	目標	703	711	720	720	件
		説明	実績	745	-	-	-	

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	社会保障制度改革が進められる中、医療分野においては、患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携を通じた、より効果的・効率的な医療提供体制の構築が求められています。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H29年度: 効率的な診療体制を構築するため、井田病院の脳神経外科及び呼吸器外科の医師を川崎病院に集約しました。井田病院では、川崎病院との兼務体制により、外来診療を継続することとしました。 H27年度: H28年度からR2年度までを計画期間とする中期経営計画を策定し、計画期間内における経営形態の現状維持等を確認しました。 H26年度: 新棟の全面開院に合わせた強化をしました。(救急センター、内視鏡センター、化学療法センターなど) H24年度: 新棟の一部開院に合わせた医療機能の強化をしました。(病棟機能の全面移転による病床再編、外来スペースの集約) H21年度: 再編整備計画の策定による医療機能の見直しをしました。(工事期間における計画)

評価項目		評価	
必要性	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?	a. 事例はない b. 事例がある	b
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
施策への貢献度	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	【民間の活用】平成30年7月から新たに入院セットを導入するなど、民間活用によりコストの削減と患者サービスの向上を図りました。 【事業手法等の見直し・質の向上】窓口会計等医事業務と電話交換業務を統合するなど、次年度に向けて経費の削減を図りました。が、仕様の精査等により、より一層の効率化・質の向上が図られる可能性はあります。	
A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由	
	B	一部の指標が目標達成に至らなかったものの、救急医療や結核医療など、公立病院として求められる政策的医療を継続的に提供するとともに、緩和ケアをはじめとしたがん診療や地域包括ケア病棟の運営など、地域のニーズを踏まえた医療を提供しました。また、市民を対象とした市民公開講座やがんサロンの開催、地域の医療従事者を対象とした症例検討会、放射線・化学療法研修会、緩和ケア研修会、在宅・緩和ケア症例検討会、地域連携・相互交流学习会の開催など、地域医療水準の向上に取り組んでおり、施策に対して一定程度貢献しています。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	III
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	変更前 (次年度計画上の記載)	⑨なし
	変更後 (上記計画上の記載に対する変更点)	⑨斜面防護等工事の完成
	変更の理由	斜面防護等工事については、路盤改良工事等開発行為の変更協議により工事に中断が生じ、完成予定が令和元年度となったため。

# 平成30年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

事務事業	事務事業コード	事務事業名				政策体系別計画の記載						
	10602030	多摩病院の運営管理				有						
担当	組織コード	所属名										
	832000	病院局経営企画室										
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)							
	平成17年度	—		施設の管理・運営	—							
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市病院事業の設置等に関する条例											
総合計画と連携する計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略,かわさき保健医療プラン,市立病院中期経営計画											
行財政改革第2期プログラムに関連する課題名	改革項目			課題名								
	取組2(10)公営企業の経営改善			9 多摩病院の効率的な運営								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
		予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額
	財源内訳	事業費 A	827,660	762,946	839,726	865,877	856,806		866,807			
		国庫支出金	0	—	0	0	0		0			
		市債	137,000	—	150,000	173,000	166,000		176,000			
		その他特財	180,341	—	179,828	181,734	180,908		180,909			
	一般財源	510,319	—	509,898	511,143	509,898		509,898				
人件費※ B	15,670	15,670	0	0	0	0	0	0	0	0		
総コスト(A+B)	843,330	778,616	839,726	865,877	856,806	0	866,807	0	866,807	0		
人工(単位:人)	1.85											

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

政策体系	政策 市民の健康を守る 施策 信頼される市立病院の運営 直接目標 誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民・患者
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	誰もが安全・安心な医療サービスを安定的かつ継続的に受けられるようにします。
事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか)	指定管理者制度を導入し、民間活力を活かした効果的かつ効率的な病院運営を行います。基本的医療機能として、救急医療、小児救急医療、災害時医療を中心に、小児から成人、高齢者・妊産婦等への医療の提供を行います。また、救急及び急性期医療を軸とする中核病院としての役割が果たせるよう、さらには市立病院として適切な運営が行えるよう、指定管理者(聖マリアンナ医科大学)への指導・管理を行います。
当該年度の取組内容 (第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①指定管理者制度を活用した効率的な病院運営の推進 ②外部有識者等第三者による病院の管理運営状況に対する意見聴取(多摩病院運営協議会の開催:年2回以上) ③市北部地域の中核病院として、救急及び急性期医療を中心とする良質な医療を安定的に提供する取組の推進(救急患者受入数:12,400人以上) ④長寿命化に向けた適切な施設維持の実施、医療需要に基づいた確かな医療機器更新の推進

## 実施結果 (Do)

上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	ほぼ目標どおり達成しました。 ①指定管理者制度を活用した効率的な病院運営の推進については、原則週に1回以上、担当職員が多摩病院に赴き、各種必要な情報を適切に伝達するとともに、指定管理者と課題や問題点等について協議し、調整及び解決を図り、適切に病院運営を推進しました。 ②外部有識者等第三者による病院の管理運営状況に対する意見聴取については、多摩病院運営協議会モニター会議及び市立病院運営委員会を通じ委員からの意見聴取を計4回実施しました。 ③市北部地域の中核病院として、救急及び急性期医療を中心とする良質な医療を安定的に提供する取組の推進については、24時間365日の救急医療、小児救急医療等を実施しました。(救急患者受入数:13,023人) ④長寿命化に向けた適切な施設維持の実施、医療需要に基づいた確かな医療機器更新の推進については、軽易工事、建設改良工事等を実施するとともに、体外衝撃波結石破碎装置、白内障手術装置等の医療機器を更新しました。						
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標・実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 活動指標	多摩病院運営協議会の開催回数	目標	2	2	2	2	回
	説明 市立病院運営委員会における審議、モニター会議を通じた患者サービス向上に関する意見要望等の聴取回数	実績	4	—	—	—	
2 成果指標	入院患者満足度	目標	88	88.6	89.3	89.3	%
	説明 市立病院で実施している入院患者の満足度調査(有効回答数概ね300)において、満足～不満足5段階のうち、満足(満足+やや満足)と回答した人の割合	実績	84.9	—	—	—	
3 成果指標	外来患者満足度	目標	79.7	80.7	81.7	81.7	%
	説明 市立病院で実施している外来患者の満足度調査(有効回答数概ね300)において、満足～不満足5段階のうち、満足(満足+やや満足)と回答した人の割合	実績	73.5	—	—	—	
4 成果指標	病床利用率(一般)	目標	80	80	80	80	%
	説明 病院のベッドの利用状況の割合 入院延患者数÷年間の許可病床数(入院延患者数の受入最大値)×100(%)	実績	81.9	—	—	—	
5 成果指標	救急患者受入数	目標	12,400	12,700	13,000	13,000	人
	説明 夜間や休日等の診療時間外に診察等を受けた患者数及び診療時間内に救急車で搬送された患者数の合計	実績	13,023	—	—	—	



## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b> (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	将来的に人口増加が予測されている川崎市北部地域では、特に小児を含む救急医療の確保についての市民要望がこれから益々高まっていくと見られます。そのため、北部地域の中核病院として救急・急性期医療を中心とする医療ニーズに対応した、質の高い安全で安心な医療サービスの提供を継続することが求められています。
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 24 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H24年度・平成24年4月1日から利用料金制度へ移行しました。

評価項目		評価	
必要性	<b>【市民のニーズ】</b> 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	<b>【市が実施する必要性】</b> 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？	a. 事例はない b. 事例がある	b
	評価の理由	【市民のニーズ】人口増加による小児救急医療、高齢化の進展による救急搬送の増加等への対応のため、北部地域の中核病院として救急・急性期医療を中心とする医療ニーズに対応した、質の高い安全で安心な医療サービスの提供を継続することが求められています。 【市が実施する必要性】本事業は指定管理者制度による市立病院の運営管理であり、民間を活用した効率的な病院運営については実施済みです。	
有効性	<b>【成果】</b> 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	患者満足度については、入院は食事、外来は診察待ち時間等の満足度が低かったため、目標達成に至らなかったものの、病床利用率、救急患者受入数は目標値を達成しています。	
効率性	<b>【民間の活用】</b> 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	c
	<b>【事業手法等の見直し】</b> 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	<b>【質の向上】</b> 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
	評価の理由	指定管理者制度は開院当初から実施済みであり、現状からの更なる効率性を求める場合には、指定管理者の交代や指定管理者制度を廃止し、病院自体を民間に譲渡するなどの措置を講ずることが必要です。	
施策への貢献度	<b>貢献度区分</b>	<b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b>	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	・多摩病院の設立経緯が、川崎北部保健医療圏の病床数及び救急医療体制の不足に対処するため、3番目の市立病院を整備することになったことから、救急医療の提供は多摩病院が果たすべき最も重要な医療機能です。勤務医不足など厳しい環境下において、開院以来、24時間365日の救急医療体制を堅持し、年間約1万3千人もの救急患者を受け入れています。 ・小児救急医療については、小児科第二次応需病院及び休日第二次応需病院(小児科)として、全休日及び毎夜間(365日)における小児救急搬送患者の受入体制を維持しており、年間約3千人の小児救急患者を受け入れています。

## 改善 (Action)

方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
今後の事業の方向性	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	I	・診察待ち時間の満足度を上げるため、平成31年1月に、診察が近づいたら通知する機能や予約状況、近隣の医療機関検索ができるスマートフォンアプリ(ライフマークコンシェルジュ)を導入しました。利用登録者の増加を図るため、あらゆる機会で開催活動を行い、患者本位の医療の提供に向けた取組を推進していきます。 ・今後とも増大する医療需要に対して、公立病院としての使命と役割を果たすため、指定管理者制度を活用した効率的な病院運営を推進していきます。
	今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	<b>変更前</b> (次年度計画上の記載)	
<b>変更後</b> (上記計画上の記載に対する変更点)			
<b>変更の理由</b>			

# 平成30年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

事務事業	事務事業コード	事務事業名				政策体系別計画の記載				
	10602040	良質な医療の提供を担う人材の確保・育成事業				有				
担当	組織コード	所属名								
	831100	病院局総務部庶務課								
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービスの分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)					
	—	—		その他	内部管理					
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 地方公務員法、地方公営企業法									
総合計画と連携する計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略、かわさき保健医療プラン、市立病院中期経営計画、人材施策推進基本計画、男女平等推進行動計画									
行財政改革第2期プログラムに関連する課題名	改革項目			課題名						
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費 A	0	0	0	33,616	0		0	
		国庫支出金	0	-	0	0	0		0	
		市債	0	-	0	0	0		0	
		その他特財	0	-	0	33,616	0		0	
		一般財源	0	-	0	0	0		0	
	人件費※ B	27,951	27,951	0	0	0	0	0	0	
	総コスト(A+B)	27,951	27,951	0	33,616	0	0	0	0	
	人工(単位:人)	3.3								

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

政策体系	<b>政策</b> 市民の健康を守る <b>施策</b> 信頼される市立病院の運営 <b>直接目標</b> 誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	人材の確保:市立病院に就職を予定している人 人材の育成:本市病院事業職員
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	人材の確保:優秀な医療人材の安定確保に努めます。 人材の育成:医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	効果的な広報活動、柔軟な採用選考、多様な任用制度の活用等により、採用困難職種である医師、看護師等の確保に取り組むとともに、局人材育成計画に基づき、各種研修の充実、受講支援等を行い、職員の人材育成と能力開発に努めます。
当該年度の取組内容 (第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①医師・看護師等の人員体制強化に向けた取組の推進 ②効果的な広報活動、柔軟な採用選考の実施及び多様な任用制度の活用による医療人材の確保(助産師・看護師の合同就職説明会:年19回以上開催) ③人材育成計画に基づく各種研修の企画、実施及び受講支援など病院運営を担う医療人材の育成(認定看護師:全43人以上)

## 実施結果 (Do)

上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「数値等より具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	ほぼ目標どおり達成できました。 ①②助産師・看護師の合同就職説明会は19回実施の予定でしたが、主催者による中止が2回あったため、17回となりました。 ③認定看護師は年度末には48人となり、目標を上回って達成できました。	

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標・実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 活動指標	助産師・看護師の合同就職説明会の開催数	目標	19	19	19	19	回
	説明 官民を問わず助産師・看護師の採用を予定している病院が、求職者に対して就職を勧奨するために参加する合同の説明会の年間開催数(ブース出展数)	実績	17	-	-	-	
2 成果指標	認定看護師数	目標	43	45	47	47	人
	説明 特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師として日本看護協会が認定した看護師の川崎病院・井田病院の在職者数	実績	48	-	-	-	
3	説明	目標					
		実績					
4	説明	目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)		小児科医、産科医をはじめとして、全国的な医師不足となっています。また、税・社会保障一体改革における推計において、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年には、看護職員は3万人～13万人が不足すると見込まれています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		H27年度：病院医事課に配置する事務系専門職種である医療事務職の採用選考を実施しました。 H25年度：助産師・看護師の採用選考案内の作成を年度一括に変更し、経費を削減しました。 H24年度：看護師確保のための学校訪問について、採用者実績に応じた重点訪問方式に見直しました。	
評価項目		評価	
必要性	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？	a. 事例はない b. 事例がある	a
評価の理由		本事業の実施については、医療制度改革、診療報酬改定等の国の制度改革の影響を直接に受けるため、これらの動向を注視しながら、本市立病院が担うべき医療機能にふさわしい人材の育成・確保に取り組む必要があります。	
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	a
	評価の理由	成果指標(認定看護師数)も目標値を上回って達成しており、看護師確保についても、7対1看護配置基準の維持に必要な看護師を確保しています。	
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
評価の理由		良質な人材確保に向け、より効果的な広報活動が考えられます。	
施策への貢献度	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	医師・看護師の人材確保を図り、医療提供体制を維持しています。

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	I
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	変更前 (次年度計画上の記載)	
	変更後 (上記計画上の記載に対する変更点)	
	変更の理由	

# 平成30年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

事務事業	事務事業コード	事務事業名				政策体系別計画の記載						
	10602050	経営健全化推進事業				有						
担当	組織コード	所属名										
	832000	病院局経営企画室										
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)							
	平成17年	—		その他	政策推進計画等(策定・進行管理)							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 新公立病院改革ガイドライン(H27.3、総務省自治財政局長通知)											
総合計画と連携する計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略、かわさき保健医療プラン、市立病院中期経営計画											
行財政改革第2期プログラムに関連する課題名	改革項目			課題名								
	取組2(10)公営企業の経営改善			8「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」に基づく経営健全化の推進								
	取組2(10)公営企業の経営改善			10入院・外来自己負担金に関する債権対策の推進								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
		予算額	決算額(見込)	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額
	財源内訳	事業費 A	282,792	151,272	261,036	322,122	263,282		263,281			
		国庫支出金	0	-	0	0	0		0		0	
		市債	0	-	0	0	0		0		0	
		その他特財	254,204	-	232,448	293,534	234,694		234,693			
		一般財源	28,588	-	28,588	28,588	28,588		28,588			
	人件費※ B	51,667	51,667	0	0	0	0	0	0	0	0	
	総コスト(A+B)	334,459	202,939	261,036	322,122	0	263,282	0	0	263,281	0	0
	人工(単位:人)	6.1										

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

政策体系	政策 施策 直接目標	市民の健康を守る 信頼される市立病院の運営 誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	病院事業会計	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	市立病院の経営の健全化を推進し、信頼される安全・安心な医療サービスを安定的かつ継続的に受けられるようにします。	
事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか)	病院経営の改善に向けて、中期経営計画の策定や進捗管理、企画・立案や経営分析、諸統計の作成、諸課題の調整のほか、情報管理などを行い、病院事業の経営健全化を推進します。	
当該年度の取組内容 (第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①川崎市立病院中期経営計画に基づく安定的な病院運営及び経営の効率化の推進 ②計画的・戦略的な設備・医療機器の整備 ③患者サービスの向上に資する取組の推進	

## 実施結果 (Do)

上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	ほぼ目標どおり達成できました。 ①川崎市立病院中期経営計画に基づく安定的な病院運営及び経営の効率化の推進について、取組状況に対する外部評価を実施しました。また、今年度から、収益のみならず収支状況についても月単位で速やかに把握し、その情報を局の本庁部門と病院合同の経営会議にて共有することで、対応策・改善策などの迅速な検討に役立てる取組を開始しました。 ②計画的・戦略的な設備・医療機器の整備について、井田病院MRI機器の更新時に機器購入と保守契約の合併入札を行うことで、複数年のトータルコストでの競争が可能となり、契約価格低減に効果がありました。 ③川崎病院において、入院又は転院時におけるよりきめ細かい相談支援の体制を構築するため、新たに「患者総合サポートセンター」を開設しました。							
指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標・実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位	
1	成果指標	経常収支比率(川崎病院)	目標	103.8	103.9	104.1	104.6	%
		説明	実績	103.3	-	-	-	
2	成果指標	経常収支比率(井田病院)	目標	95.3	96.9	97.2	98.1	%
		説明	実績	95.5	-	-	-	
3			目標					
		説明	実績					
4			目標					
		説明	実績					



## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b> (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	高齢化の進展や人口減少、あるいは雇用基盤や家族形態等の変化など、社会保障制度を取り巻く環境が大きく変化する中においても、公立病院には、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、安定した経営の下で、不採算医療や高度・急性期医療等を、継続的に提供することが求められています。
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H28年3月:「川崎市立病院中期経営計画2016-2020(計画期間:H28~R2年度)」策定 H27年3月:「新公立病院改革ガイドライン(総務省自治財政局長通知)」 病院事業を設置する自治体に「新公立病院改革プラン」の策定を要請 H24年3月:「第3次川崎市病院事業経営健全化計画(計画期間:H24~26年度)」策定 H21年3月:「第2次川崎市病院事業経営健全化計画(計画期間:H21~23年度)」策定 H18年3月:「川崎市病院事業経営健全化計画(計画期間:H17~21年度)」策定

評価項目		評価	
必要性	<b>【市民のニーズ】</b> 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	<b>【市が実施する必要性】</b> 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?	a. 事例はない b. 事例がある	b
	評価の理由	【市民のニーズ】高齢社会の進展に伴い、今後ますます医療需要が高まることが予想されています。 【市が実施する必要性】公立病院として、引き続き救急医療、感染症等の政策的医療・不採算医療を担っていく必要があります。	
有効性	<b>【成果】</b> 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	医師確保等の収益増、委託仕様書の見直し等の経費削減など経営改善に取り組んだ結果、徐々に成果が上がっています。	
効率性	<b>【民間の活用】</b> 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	<b>【事業手法等の見直し】</b> 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか?	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	<b>【質の向上】</b> 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	【民間の活用】川崎病院の駐車場について、貸付事業者を選定し、平成31年4月から民営化しています。 【事業手法等の見直し・質の向上】各病院では、清掃業務や窓口会計業務等、委託による民間活用によって経費削減に取り組んでいますが、更なる仕様の精査や契約方法の工夫などによって、より一層効率化、質の向上が図られる可能性はあります。	

施策への貢献度	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	B

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	II
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	<b>変更前</b> (次年度計画上の記載)	
	<b>変更後</b> (上記計画上の記載に対する変更点)	
	<b>変更の理由</b>	

資料1(平成30年度の主な事務事業評価結果一覧)の見方

平成30年度の主な事務事業評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、『政策体系別計画に記載のある事務事業』及び『施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの』を取りまとめ、個別に進捗状況をお示したものです。  
 一覧の見方は次のとおりです。

平成30年度の主な事務事業評価結果一覧(総務企画局所管)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費(千円)		事業の達成度	
						予算額	決算額(見込)		
1	10101010	防災対策管理運営事業	その他	国土強靱化地域計画や地域防災計画等、各種の計画を推進し、市の災害対応力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国土強靱化地域計画推進会議を活用した「国土強靱化地域計画」及び「地震防災戦略」の取組の推進と今後の方向性等の確認</li> <li>●「地域防災計画(震災対策編)」の修正、水防法の改正等を踏まえた「地域防災計画(風水害対策編)」の修正</li> <li>●「業務継続計画」について、来年度の改定に向けた各局の課題共有や研修会の実施</li> <li>●災害救助実施市の指定に向けた取組</li> </ul>	63,212	123,837	3	①『政策体系別計画に記載のある事務事業』及び『施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの』を掲載
2	10101020	地域防災推進事業	イベント等	自主防災組織の育成、民間企業との連携、防災訓練や研修等による、自助・共助(互助)・公助の取組・連携の強化や各主体の防災意識の向上により、地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●補助金等の活用による自主防災組織への支援の実施</li> <li>●避難所運営体制の強化(会議開催:90.9%、訓練:140回)</li> <li>●タブレット版の防災広報誌の全戸配布</li> <li>●九都県市合同防災訓練を実施したほか、各区で区総合防災訓練を実施(計11回)</li> <li>●全局を対象とした市災害対策本部図上訓練、災害対策本部研修等(5回)及び避難所運営要員研修(29回)を実施</li> <li>●同報系防災行政無線屋外受信機の増設(増設数:6台)</li> </ul>	285,558	262,129	3	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	10101030	防災施設整備事業	施設の管理・運営	防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多重系、衛星系防災行政無線の再整備</li> <li>●次期防災情報システムの整備に向けた取組</li> <li>●狭小倉庫対応に向けた新たな備蓄倉庫の設置(4棟分)</li> </ul>	1,581,902	1,525,479	3	③事務事業の概要を記載
4	10101040	臨海部・津波防災対策事業	その他	コンビナート災害対策や津波対策などを実施し、臨海部の総合的な防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津波避難施設の拡充(新規で1か所を指定し、合計で103か所)</li> <li>●実動訓練として臨海部広域防災訓練や津波避難訓練、図上訓練として県石油コンビナート防災本部訓練の実施</li> <li>●津波被害軽減研究の推進(実証実験の実施・避難シミュレーションの作成)</li> <li>●津波ハザードマップの配布</li> </ul>	5,876	3,399	3	④実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	10101050	帰宅困難者対策推進事業	その他	一斉帰宅の抑制の周知や帰宅困難者用一時滞在施設の確保等を行い、災害時における混乱を抑制するとともに、二次災害を防止します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●帰宅困難者一時滞在施設の指定による収容人数の増加(1,400人増)</li> <li>●供用を開始したJR川崎駅北口での実動訓練の実施</li> <li>●主要駅(溝口駅、登戸駅)における実動訓練の実施</li> </ul>	6,885	5,791	3	⑤平成30年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	10101070	本庁舎等建替事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新本庁舎実施設計</li> <li>●新本庁舎超高層棟新築工事を発注(入札不調)</li> <li>●環境影響評価手続を完了</li> </ul>	338,848	322,506	4	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数:目標1,800か所のところ実績1,666か所)</li> <li>●「かわさきアプリ」のサービス拡充(アプリダウンロード数:183,173回)</li> <li>●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者登録数:177団体)</li> <li>●川崎市官民データ活用推進計画の策定</li> <li>●更なるオープンデータの公開(公開数:198データセット、ダウンロード数:3,372件)</li> </ul>	39,927	33,791	4	
8	40205020	行政情報化推進事業	その他	「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報化推進プログラムの改定</li> <li>●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用</li> <li>●番号法の一部改正を踏まえた本市番号条例及び同施行規則の改正</li> <li>●自治体ポイントの実証実験、マイナンバーを用いた電子申請の試行的実施</li> <li>●モバイル端末やテレビ会議等の利用促進、モバイルワーク等の実施に向けた庁内環境の構築</li> <li>●本庁舎建替えに向けた新たなICT環境整備の検討課題の取りまとめ</li> </ul>	26,763	13,996	3	